

教育民生常任委員会

7月1・2・3日の日程で、兵庫県・京都府の3市町を行政視察しました。

自律的に「歩く」を基本にしたまちづくり

～兵庫県豊岡市

「スマートウェルネスシティ」という事業に筑波大学と共同で取り組み、高齢化・人口減少が進んでも持続可能な社会をめざしている。健康対策や環境保全にポイント制度を組み入れ、住民の健康意識の向上に役立てている。本町も取り組めないか、参考としたい。

コウノトリによる環境保全

～兵庫県豊岡市

国の天然記念物であるコウノトリの保護活動を通じて、地域の環境保全に成功している。特に水田に多様な生きものを育むため、中干し延期・深水管理・冬季湛水^{たんすい}で減農薬栽培し、地域ブランド米を確立している。本町も考えてみたい。

政策決定に女性の視点を

～兵庫県播磨町

女性町長の強いリーダーシップのもと



コウノトリと環境保全

と、男女共同参画事業が大いに推進されている。セクシャルハラスメントやDVなどへの対策も地域全体で取り組み、子育て環境の充実とあわせ、人口減少対策にもつなげている。本町も一歩ずつ進めていきたい。

かやぶき屋根でまちづくり

～京都府南丹市美山北

寄棟造りと合掌造りの両方の特徴を持つ美山型のかやぶき屋根の建物が、50戸ある集落の8割を占めている重要な伝統的建造物群保存地区(重伝建)。
かやを生産・販売し、屋根を修理する会社と保存会が連携し、まちづくりを行っている。

所子重伝建に近い形態であり、防災や見学者の対応などたいへん参考になった。



特徴的なかやぶき屋根